

静岡市立日本平動物園

Z



NIHONDAIRA ZOO
OFFICIAL MAGAZINE
ZOO SHIZUOKA

しずおか

特集

ふれあい動物園で ウマと友達になろう!

個体紹介・トレーニング・装蹄

Girl Zoo Talk 夜の動物園編

外来哺乳類の静岡県の現状

76



日本平動物園
NIHONDAIRA ZOO

2014

ズーっと一緒に暮らそうね!!
日本の野生動物たち

【インタビュー】
Girl Zoo Talk -夜の動物園編-

【特集】
ふれあい動物園で
ウマと友達になろう!

【ワイルドライフ】
外来哺乳類の静岡県現状

【動物園NEWS】
動物たちと園内のできごと

秋の写生大会

めざせ! 動物園博士

N.Z.G.V. ガイドボランティア

表紙の写真



ウマ(アメリカンクォーターホース)
奇蹄目ウマ科に属する動物で、古くから家畜
として親しまれてきました。アメリカンクォー
ターホースはウマの品種の一つで、アメリカで主
に乗馬や競馬用の馬として飼われています。

ズーっと一緒に 暮らそうね!! 日本の野生動物たち

静岡県の傷病野生鳥獣保護事業

人の近くにやってきて農作物を荒らすサルやクマ、車や電車にひかれるタヌキやシカ、鳴き
声が綺麗だからと違法に捕まえられる小鳥たち…。人と野生動物の衝突はよくニュースにも
なります。今回は、日本平動物園で行っている傷病野生鳥獣保護事業についてお話しす
るとともに、人と野生動物が一緒に暮らしていくためには、どうしたらいいのか、皆さんと一緒に
考えていきたいと思います。

傷病野生鳥獣保護ってなあに?

その名のとおり…



日本平動物園では静岡県内で保護された動物たちを受け入れています。
基本的にはケガや病気の動物を受け入れています。実際には半分くらいは夏に巣立ちの
飛び練習をしているヒナを迷子と勘違いしてしまう「誤認保護」です。

傷病野生鳥獣保護のおしごと

野生動物を治療し、
野生復帰させる



ボランティアや市民と協力して
保護することで、命を守る文化を育てる



保護された原因を究明し、予防する
保護された動物を通じ、環境モニタリングする



野生動物保護に関わる情報を提供し、
環境教育、情操教育を行う



今、多くの動物が生息数を減らしている中で、

- ① 多種多様な野生動物を保護し、次の世代に引き継ぐこと
 - ② 多くの人に身の回りで暮らすたくさんの動物に気付いて、意識してもらうこと
- は、私たちの大きな使命です。
日本の動物たちとずっと暮らせる未来を作るのはあなたです。

次回は動物たちと一緒に暮らすにはどうしたらいいのか一緒に考えていきましょう。

Girl Zoo Talk -夜の動物園編-

ライトアップされた動物たちの姿も美しく。
復活した「夜の動物園」は大人気!

2013年の夏、「夜の動物園」が5年ぶりに復活。
3回にわたって開催され、予想を超える多数のお客様が来園されました。
その期待に応えようと頑張った女性スタッフ3人が、
当日の様子や思いを語り合いました。

開催日 2013年8月24日(土)、9月7日(土)、21日(土)
時間 17:30~20:30(最終入園19:30)
入園者数 15,495人(3日間合計)



井上 志保
ヒツジの飼育を担当



志村 楓
動物病院の飼育担当



永倉 頌子
動物病院の飼育担当

夜の動物たちの様子は

井上 「夜の動物園」が5年ぶりに開催され
ました。久しぶりということもあってお客様が
大勢いらっしゃいましたね。

志村 私と永倉さんは、迷子の世話係や清
掃係をしました。

永倉 お子さんとしっかり手をつないで見て
いるご家族が多くて安心しました。

志村 永倉さんは夜行性動物館にいました
よね。動物たちの動きは、昼間と比べてどうで
したか。

永倉 夜行性動物館は、「夜の動物園」では
普段と逆の昼間の設定になります。夜行性の
動物たちは活発ではありませんが、いつもと違
う明るい館内をじっくり見ていただけるお客様
が多かったですね。

井上 私は、猛獣館299でお客様の通路の
確保などを担当しました。猛獣館の野生動物
たちはあまり人に馴れていません。昼間とは違
う環境の中でどうなるのか不安でしたが、ジャ
ガーもピューマも良く動いていました。お客様も
そんな姿を楽しんで写真を撮っていましたね。
私は、ジャガーのオシッコがお客様の迷惑にな
らないよう気を付けていましたが(笑)。人気の
アザラシも、飼育員の呼びかけに応じて円筒
水槽の中に降りてきていましたよ。

地域と協力してのキャンドルナイト

井上 今回は、駿河区自治会連合会の方と
協力してキャンドルナイトを開催しました。8月
の第1回目は駿河区の方たちが、9月の第2回目
と3回目は私たち動物園のスタッフがキャンドル
を並べました。環境保護をアピールしようとい
うことで、廃油を利用したキャンドルもありました。

永倉 キャンドルがホッキョクグマやヒヨコの
形に並べられて、とてもきれいでした。風で灯が
消えてしまうこともありましたが、その時は、小学
生の子供さんが点け直していましたよ。

志村 日本平ですから美しい夜景も一緒に
見られましたし、バンド演奏もあってすごく良い
雰囲気でした。

手作りの演出で楽しくおもてなし

井上 園内の演出にもかなりこだわりました
よね。

志村 お客様に少しでも楽しんで頂こうとエン
トランスにはスタンドグラスのランタンを並べま
した。黒い紙で切り絵を作り、それにカラーセロ
ハンを貼って作りました。なにかオブジェ的なも
のを作ろうとスタッフが自ら考えたもので、制作
には1ヵ月くらいかかりましたね。

永倉 スタンドグラスは4面あって、それぞれに

絵が違いました。お客様が回転させて好きな絵
柄を選び、写真を撮るように工夫しました。

井上 スタンドグラスは、園内の壁にきれいに
映っていましたね。熱心に写真を撮られている
お客様もいましたし、あの演出は好評でしたよ。

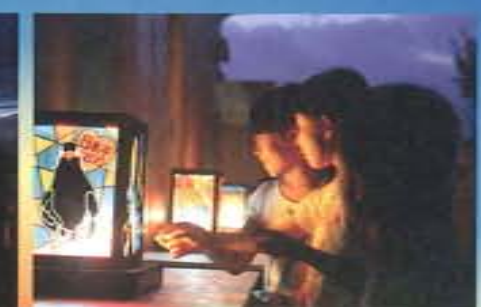
志村 飼育の仕事があるので制作時間は限
られていますが、豆電球を使ったり、色を塗った
り、皆で力を合わせて作るのとても楽しかった
です。

今回の成功を次のステップに

志村 「夜の動物園」は各地の動物園で行
われていますが、通路が真っ暗という所もある
ようです。リニューアルした日本平動物園は照
明設備も新しく整えられています。他園より見
学しやすいと思います。

永倉 建物の中で見られる動物も増えたの
で、夜の暗さもあり問題にはならなかったの
ではないでしょうか。今回は、動物キャンドルや
スタンドグラスなど私たちの手作りの演出を楽
しんで頂けたことがうれしかったです。

井上 動物たちも美しくライトアップされて、子
供はもちろんお父さんお母さんも本当に楽し
そうでした。喜んでくれる姿を見て達成感を感じ
ました。今回の成功をステップにして、さらに楽し
い「夜の動物園」を開催したいですね。



ふれあい動物園で ウマと友達になろう！



特集
SPECIAL

ホニの背中に乗ったり、ウサギやモグラとさわったり、ヒツジにエサをあげたり。ふれあい動物園は、さまざまな動物との交流を体験できる場です。生命の仕組みや大切さを学び、動物の気持ちを理解し、豊かな感性を育てたい。野生動物を取り巻く様々な環境に興味を持ち、正しい知識を深めたい。自然とかけ離れてしまった現代の子どもの心を癒し、動物を飼育しています。今回は、ふれあい動物園の中でも子どもたちに大人気の「ウマ」にスポットを当てました。ウマとのふれあいはじめ、安全な乗馬のために力を尽くすトレーナーや、ウマの蹄を手入れする装蹄師の姿をご紹介します。



ウマが教えてくれる
つながり、思いやる
ことの大切さ

ふれあい動物園には、アメリカンクォーターホースの「レベッカ」とシェットランドポニーの「チェリー」、「ボン」、そしてロバの「ゴン」がいます。4頭のウマの性格はそれぞれがいます。飼育員たちは、馬体の手入れをしながら1頭1頭に話しかけ、親しい友人のように向き合っています。「ウマは表情がとても豊か。人と気持ちが通い合っている時、そうでない時がはっきりわかります」と飼育員は語ります。ウマは、エサを与えても簡単にはなつきません。人を観察し、人によって接し方を変えてきます。人とウマは、犬のような主従の関係ではなく、対等の関係です。ウサギやヒヨコなどの小動物が、私たちに「命の大切さ」を教えてくれるように、ウマは「つながりを持つ喜び」を教えてくれます。今年は、たくさん子どもたちが日本平動物園のウマと友達になってほしいと思います。そこから、動物の気持ちを思いやる優しい心が育まれていくことでしょう。



レベッカ

アメリカンクォーターホース ♀ 5歳
2012年の秋、日本平動物園にやってきました。
おとなしくて表情が豊かなウマです。
子どもから大人まで、幅広い世代に人気があります。



チェリー

シェットランドポニー ♀ 16歳
機敏にゴンの口ひもをひっぱたり、
飼育員の服をかんざしするイタズラっ子。
ボンとよく遊んでいます。



ゴン

ロバ ♂ 21歳
さすがに力屋でちょっと神経質。
なぜか男の人が苦手です。
飼育員の言うことをなかなか聞かない
ガンコな一面も。



ボン

シェットランドポニー ♀ 30歳
人が近づいてもそのまま寝てしまおうとする、
おっとりして、おとなしい性格です。
人間に例えると100歳近くになりますが、
まだまだ元気。



トレーニング Training

ふれあい動物園の馬場でトレーニング指導をお願いしている
乗馬インストラクターの望月政明さん。
乗馬の魅力は「人馬一体感」にあると言います。
それは、ウマと気持ちを通わせることから始まります。



望月政明さん

静岡市駿河区平沢にある乗馬クラブ
「平沢ライディングガーデン」のインス
トラクター。2013年7月から、ふれあい
動物園の馬場の飼育員にウマのト
レーニング方法を指導している。

子どもたちに安全な乗馬を

ふれあい動物園の馬場では、5歳から小学6年生までの子どもたちが乗馬を楽しめます。その際、最も気を付けなければならないのが「安全」です。

ウマに乗る子どもの様子はさまざまで、びっくりして力が入ってしまう子もいれば、やんちゃな子もいます。いろいろな状況に耐えられるようにウマをしつけなくてはなりません。子どもがウマを操ることはできませんから、手綱をひいている飼育員に注意が向くようにウマに教え込むことが必要です。

まず初めに、飼育員が手綱を引っ張ったら歩く、止まったら止まるという基本的なことから指導を始めました。これは人をウマに乗せる上での最低限の約束事です。飼育員の皆さんには、指導に来るたびに課題を出して、それをクリアするようにお願いして

います。また、飼育員自身もウマに乗り、反応が良かった時や悪かった時、いろいろな経験を積むことが大事です。そうすることで、人とウマが通じ合うとはどういうことか、より深く知ることができます。

調馬索トレーニングとは

現在主に行っているのは、調馬索トレーニングです。調馬索とは、ウマを円周上で調教するために使用する8m程の紐のこと。最も基礎的なトレーニングで、紐を持って輪を描くように歩かせたり速足させたりします。ウマの体力向上や、人が背中に乗ったとき驚かないよう、前もって体をほぐし落ち着かせてあげるという目的もあります。

レベッカは調馬索に大分慣れてきているので、そろそろ次の「飼育員を乗せて早歩き」などのステップを始めてもいいかもしれませ

んね。それぞれのウマの状態に合わせて、適切なトレーニングを行うことが大切なんです。

人馬一体感を目指して

乗馬の一番の魅力は何かと聞かれたら、私は「人馬一体感」にあると思います。最初に乗った時より、乗り終わる頃に「慣れてきた」と感じたり、次に乗ったときにはもっとうまく乗れてウマとより通じ合えるようになると、乗馬がどんどん楽しくなっていくと思います。乗馬には、初心者には初心者の、上達すればまたレベルアップに応じた楽しさがあるんです。ここで初めてウマに乗った子どもたちが、乗馬に興味を持ち、続けてくれたらうれしいですね。そうしてウマに乗り続けていけば、徐々に人馬一体の魅力を感じていくでしょう。「安全にウマに乗る」とことは、その大前提。そのために日々のトレーニングが重要なんです。

装蹄 Horseshoeing

蹄の手入れを行なう職人を、装蹄師と呼びます。
職人気質と、ウマの健康を気遣う愛情にあふれる仕事です。
日本平動物園では、装蹄師の松田太喜夫さんに、
ウマの病気を防ぐために必要な削蹄をお願いしています。



松田太喜夫さん
公益社団法人 日本装蹄協会
装蹄教育センターにて2級装蹄師
資格を取得。卒業後、5年間の修行
を経て独立。2013年2月から日本平
動物園のウマの削蹄をしている。



ウマの蹄を手入れして病気を防ぐ

走ったりすることで蹄が自然に磨耗する野生のウマとちがって、人の飼育下にあるウマの爪はどんどん伸びていきます。これはウマの健康にとって大変危険です。たとえば伸びた爪の間には糞尿などが詰まりやすく、これを放っておくと蹄葉炎という炎症を起こし、爪がはがれてしまいます。一本の肢が蹄葉炎になると、ウマは残り三本の肢で立たなければなりません。その状態が長く続くと健全な肢にも蹄葉炎が発症し、自力で

立つことができなくなります。余計に伸びた爪を削る削蹄は、ウマの健康管理に欠かせない作業なんです。

削蹄に使う道具は、前垂れ、ゴミや泥を取る括削刀、爪を切るせんかん、蹄を削るヤスリ、古い爪の角質を取る鑢形削蹄刀、木槌など。

ウマの肢の裏には、蹄叉と呼ばれる、肢にかかる負荷を和らげる部分があります。この蹄叉が腐爛していびつになると、物が詰まりやすくなり、蹄葉炎の原因になります。削蹄は括削刀を使って蹄叉をきれいにする

ことから始め、爪の形をだまかに整えてから切り始めます。人の爪切りと同じで、死んだ爪を切っているの、ウマが痛みを感じることはないんですよ。

装蹄師は自分の腕だけが頼り

私は、宇都宮にある装蹄教育センターで仕事の基本を学びました。センターの入学者は毎年16人と決まっており、全寮制で一年間勉強します。卒業後は、ベテランの装蹄師に弟子入りして修行を重ねます。

2014年の干支展は、ウマにまつわる知識を楽しく紹介。

新年恒例の干支展は、来場者の知識を深め、動物への興味を持ってもらうために行っています。今年は「ウマ」をテーマに開催されました。

世界のウマの大きさを比較するパネルや、記念写真コーナーは子どもたちに大好評。また、草食動物であるウマの頭骨を展示して、肉食獣との歯の違いなどを来園者にわかりやすく見ていただきました。

また、ウマ展の好評を受けて、馬糞の特徴について解説しました。ウマの糞は牛とちがって熱を持っています。それは消化の仕組みがちがうためです。ウマは、食べた物を腸で分解しますが、排泄する時に体内の微生物と一緒に出てきます。その微生物が熱を出すのです。日本では、この馬糞の熱を農業に利用してきた歴史があります。冬になると、雪が積もった畑に馬糞をまいている地方があります。土を良く育てる馬糞堆肥は、農作物の栽培やガーデニングに今も使われています。

この他、絵馬の歴史の紹介や、ニンジン絵に今年の願い事を書いていただく企画も好評でした。ウマにまつわる知識をさまざまな形でご紹介した今年の干支展。ウマは古くから日本人と深い関わりを持ってきた動物であることを改めて感じます。

期 間：2013年12月17日～2014年2月2日
会 場：ビジターセンター



装蹄師は職人の世界です。親方の仕事を見ながら、自分で技術を修得していきます。私は5年間修行して独立しましたが、独立後も自分のブランドを確立するために技術を磨き続けています。

重いウマを扱うには力が必要です。暴れる危険も伴います。好きな仕事とはいえ楽ではありませんが、私に仕事を依頼してくれるお客様は、私の技術を信頼して大切なウマを任せてくれます。それだけにやりがいがあります。最近は、定年退職後に乗馬を楽しむ人が増え、ウマの数も増加して装蹄師

の需要は高まっています。装蹄師を目指す若者がぜひ増えてほしいと思いますね。

ウマが楽に歩き、人が楽しく乗れるように

日本平動物園には、3ヵ月に1回程度、削蹄のために訪れています。動物園からの依頼は初めてでした。日頃私が触れているウマとは飼われ方が異なるので、爪の伸び方もちがいます。その点を理解して、ウマの肩や腰に負担がかからないよう気をつけて削蹄し

ています。私が常に心がけているのは、「自分が削蹄することでウマが楽に歩けるようになる」ことです。その結果、楽しく人を乗せてあげることができればうれしいですね。

今回のウマ特集はいかがでしたか。ふれあい動物園の乗馬は、子どもたちとウマが心を通わせる楽しいひと時です。それは、飼育員や装蹄師、トレーナーの日頃の努力があって初めてできる、人とウマのコミュニケーションです。



ワイルド
ライフ
WILD LIFE

特定非営利活動法人 静岡県自然史博物館ネットワーク 三宅 隆

外来哺乳類の 静岡県の現状

アライグマ(特定外来種)

静岡県内にアライグマがいるなんて、信じられないかもしれませんが、実は県内各所で確認の報告があり、年々分布が広がる傾向にあります。日本平動物園の位置する有度山でも何頭も捕まっています。アライグマは、元々、北アメリカ原産の食肉目アライグマ科に属する中型の動物です。このアライグマ、1980年代、テレビアニメの影響もあり、一躍人気者となり、多くがペットとして輸入され、家庭でも飼育されるようになりました。しかし、野生動物であり、飼育に困って、捨てたり、逃げられたりして、放散から10年くらい経ってから日本のあちこちでアライグマの野生化が確認されるようになってきたのです。

県内での初確認は2003年6月、富士宮市の田貫湖周辺です。その後旧由比町、旧蒲原町で確認され、現在では、静岡市、富士宮市、富士市、浜松市北区などで野生繁殖が確認されており、県内でもその分布は急速に拡大傾向にあると考えられます。

なぜ、アライグマがいると問題なのでしょう。まず、人畜共通感染症である狂犬病やQ熱を媒介する可能性があること、またアライグマ回虫による感染の危険性も指摘されています。これら、人間への直接的被害

の他に、農作物被害や建物への侵入被害も問題です。日本在来の動物との軋轢も心配され、キツネやタヌキなどの競合や、野鳥の巣の被害なども考えられ、その対策は喫緊の課題となっているのです。

2009年度に、静岡市内のアライグマ生息実態調査を実施し、仕掛けた80か所の自動撮影カメラのうち、アライグマがなんと清水区内の15か所で写っていたのです。アライグマの性成熟は早く、多くのメスが1歳から妊娠し毎年平均4頭の子を産むと言われます。天敵が少ない日本では劇的に増加していく可能性があります。

アライグマは手が器用で、木登りも得意なため、防除法も簡単な柵などでは通用しません。根本的対策としては、トラップを仕掛け、捕獲して殺処分するしかありません。現在、神奈川県や埼玉県、兵庫県などでは毎年数千頭が捕獲されていますが、その生息数は増加の一途をたどっています。

アライグマが捕獲処分されるなんて可哀相と言う人もいるでしょう。たしかに、アライグマが自分の意志で来たくて日本に来たわけではなく、人間が持ち込んだものであり、アライグマ自身に責任はありません。しかし元々いなかったアライグマによって生息をおびやかされる日本の動物たちや、作物を荒らされる農家の方々にとっては、深刻な問題なのです。



エッグトラップにかかったアライグマ

これだけ被害や問題が出てくると、持ち込んだ人間の責任として、捕獲して数を減らし、被害を防止する義務があるのではないのでしょうか。やはり、アライグマは日本の野生では、いてはいけない動物なのです。

マンシュウハリネズミ(特定外来種)

静岡県内では、伊東市でマンシュウハリネズミが確認されています。元々はペットとして飼われていたものが、遺棄され、増えたと思われます。

2007年度、伊東市内においてハリネズミの調査を実施しました。大室山周辺で、ネズミ取り用のワナをかけたのですが、思うように効果がありませんでした。そこで、夜間、公園を懐中電灯で照らしながら探し回ったところ、あちらこちらで見つけられるようになったのです。夜間、懐中電灯で照らされると、ハリネズミはさっと丸くなって動かなくなります。針の棘で身をまもっているのですが、キツネやタヌキならば、噛みつかれることなく効果はあるのでしょうか、人間は、皮手袋を使えばいとも簡単に捕まえられます。まさか、人間が敵になるとはハリネズミも思っていなかったのでしょうか。

現在、目立った農作物への被害はあまり確認されていませんが、生態的には、モグラとの競合や地上に巣を作る野鳥への被害などが考えられます。今後、どんな問題が起きるか、また何が起きるか判りません。

これらペット外来種問題の根源には、ペットとして飼いはじめたら最後まで飼い続けると言う原則を守らない飼い主があまりにも多すぎることにあります。安易な遺棄や放散が取り返しのつかないことになるのです。

タイワンリス(特定外来種)

タイワンリスは、東南アジアに広く分布するクリハラリスの1亜種で台湾に生息しています。県内では、浜松市内から佐鳴湖周



左上/自動カメラに写ったアライグマ
左中/タイワンリス
左下/ハクビシン(浜井市小笠山にて撮影)
右/マンシュウハリネズミ



辺および伊豆半島東海岸の下田から熱海にかけての海岸沿いで生息が確認されています。

伊豆では、農作物被害、シイタケの「ほだ木」を齧る被害、さらに立木の樹皮剥ぎによる樹木の枯死が問題となっています。また、電線や電話線の被覆線が齧られる被害も深刻で、電話会社はその対策に頭を痛めているようです。タイワンリスは、伊豆半島では今のところ内陸部への侵入は確認されておらず、在来種のニホンリスとの争いは、無いようですが、伊豆の中央部の天城山のほうへ拡大、分布していくと、体が大きいタイワンリスに、ニホンリスが駆逐される可能性も大いに危惧されます。

ハクビシン(未指定)

環境省は外来生物法の策定に当たり、ハクビシンは「移入時期がはっきりしない」として、明治以降に移入した動植物を対象とする外来生物法(正式名称「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に

関する法律」)に基づく特定外来生物に指定していません。

国内に生息しているという最初の確実な報告は昭和18年、静岡県の旧浜名郡知波田村で捕獲された1頭であると言われます。明治時代に毛皮用として台湾や中国などから持ち込まれた一部が、遺棄されたり逃げ出したりして野生化したとの説もあります。発見された当初は、珍獣として扱われ、山梨県や長野県では県指定の天然記念物になったり、静岡県でも保護動物になったりしていましたが、現在では有害動物として狩猟鳥獣に指定されています。

前述のアライグマ生息実態調査では、静岡市内80か所に仕掛けたカメラのうち、なんと47か所でハクビシンが写っており、中型の哺乳類では断トツの1位でした。今では県全体に分布を広げ、中型哺乳類の中では最優先種ともいえる存在になっています。それだけ、被害も深刻なのですが、木登りは上手で、簡単な柵だけでは防除できないので、問題は多く残っています。

(写真提供:三宅隆氏)



ニュース
NEWS

動物園
NEWS

動物園 内物たち のできごと

2013.6
↓
2013.11



6月

2013 | June

6月1日
コミュニティソーラー発電設置記念式典



6月16日
ZOOスポットガイド「アムールトラ・ライオン」

6月25日
アジアゾウの水浴び開始
(～11月24日)

7月

2013 | July

7月13日～8月25日
夏の動物園まつり



7月14日
チンパンジーと観察

7月15日
サイさんさわらせてください!

7月17日
アザランにお魚のプレゼント

7月19日
ハンズオンガイド

7月21日
ZOOスポットガイド「マレーバク」
ペンギンにお魚のプレゼント

7月25日
ゾウ糞ペーパー工作体験コーナー

7月30日・31日
サマースクール4・5・6年生(1回目)

8月

2013 | August

8月1日
開園記念日
一日こども園長、園長と歩く動物園、
ゾウにスイカのプレゼント
サマースクール2・3年生(1回目)

8月2日
サマースクール1年生(1回目)

8月3日
ホッキョクグマに魚とスイカのプレゼント

8月4日
小動物との記念撮影

8月6日
サマースクール1年生(2回目)

8月7日
サマースクール2・3年生(2回目)

サマースクール

動物たちは、命の大切さを
教えてくれる先生です。

サマースクールは、日本平動物園の教育事業の一つです。夏休みの小学生を対象に参加無料で行なっています。1年生クラス、2・3年生クラス、4・5・6年生クラスがあり、それぞれ学びのテーマを決めて、園内の動物たちとふれあったり、生態を調べたりします。新しいお友達もできるかもしれませんよ。



8月8日・9日
サマースクール4・5・6年生(2回目)

8月11日
フライングメガドームでお魚のプレゼント

8月18日
ZOOスポットガイド「ふれあい動物園
ウサギ」、「サルさんおやつくだサル!」

8月21日
ワニのエサやり見学

8月24日
夜の動物園(1日目)



8月25日
ホッキョクグマお楽しみイベント

8月30日
防災訓練



9月

2013 | September

9月7日
夜の動物園(2日目)

9月16日
長寿動物表彰式を開催し、アメリカバイ
ソンのマック(♂)21才が表彰される。

9月21日
国際レッサーパンダデーイベント
ZOOスポットガイド「ブチハイエナ」
夜の動物園(3日目)



9月22日
世界サイの日イベント

9月23日
動物慰霊祭



10月

2013 | October

10月1日～12月1日
ウンコ展 動物たちのヒミツがつまった
おとしもの

ウンコ展 動物たちのヒミツがつまったおとしもの

ウンコを通して、もっと
動物のことを知って欲しい。

この企画展を見た後、動物のウンコを見る目が少しでも変われば。そんな思いで始めたのがこのウンコ展でした。本物の糞に触れるハンズオンコーナーとクイズコーナーが人気で、「普段じっくり見ることがないのでとても新鮮だった」、「子供や孫と一緒に楽しめた」、「ヘビのウンコを初めて見た」、「もっといろんなウンコを見たい」など大きな反響をいただきました。



10月12日～11月10日
秋の動物園まつり

10月12日
ペンギンにお魚のプレゼント

10月13日
チンパンジーと観察

10月14日
ミニ運動会
サイさんさわらせてください!

10月19日
ヒツジとヤギの飼育講習会

10月20日
ZOOスポットガイド「オランウータン」



10月23日
ハンズオンガイド

10月24日
ピューマ・ジャガーにどきどきプレゼント
動物クラフト(クジャクの羽アクセサリ・
うでわ)作り



10月24日・25日
生物多様性委員会レッサーパンダ計
画推進会議

10月27日
フライングメガドームでお魚のプレゼント

10月30日
ハロウィン・たいらちゃんと記念撮影
ハロウィンイベント「アジアゾウにかぼ
ちゃのプレゼント」

アジアゾウにかぼちゃのプレゼント

重さなんと60kg!!
特大かぼちゃをプレゼント

11月30日はハロウィンということで、アジアゾウのシャンティ(♀)に1個重さ60kgのかぼちゃをプレゼント。一足でいとも簡単に潰してしまいました。しかしお味の方はいまいちだったのか、ほとんど食べず、代わりにもう1頭のアジアゾウのダンボ(♀)がたいらげっていました。



10月31日
はびま in 動物園(親子写真撮影会)

11月

2013 | November

11月3日
レッサーパンダの体重測定
「めざせ!動物園博士」入門コース

11月4日
アザランにお魚のプレゼント

11月7日
ピューマ・ジャガーにどきどきプレゼント

11月10日
小動物との記念撮影

11月17日
ZOOスポットガイド「ベネットアカクビワ
ラビー」



生まれた主な動物たち

2013年 6月 9日	オシドリ	性別不詳6
6月 22日	ボールニシキヘビ	性別不詳1
7月 9日	シセンレッサーバウダ	♀1
7月 18日	インカアジサシ	性別不詳3
9月 4日	ワタボウシタマリン	性別不詳2
9月 19日	アカテタマリン	性別不詳2
9月 23日	カリフォルニアキングヘビ	性別不詳1
10月 1日	リスザル	性別不詳1
10月 6日	ヒゲサキ	性別不詳1
10月 28日	コモンマーモセット	性別不詳2



シセンレッサーバウダ/ミホ
やんちゃなタウ(♂・3才)と好奇心
旺盛なシー(♀・3才)との間に生ま
れたミホは、親に似ず警戒心がとて
も強い子。放飼場ではシーの後ろを
くっついて離れないほどお母さんが
大好き! まだまだ甘えたい年頃なん
でしょうね!

亡くなった主な動物たち

2013年 6月 2日	ヤギ	♂1	循環器不全
6月 23日	フトアゴヒゲトカゲ	♀1	循環器不全
7月 14日	コロンビアレインボーボア	♂1	肺炎
7月 17日	ワシミズク	♀1	老衰(胸腹膜炎)
8月 19日	マサイキリン	♂1	呼吸不全
8月 20日	アビシニアコロブス	♀1	老衰(腸炎・化膿性腹膜炎)
9月 6日	アメリカバイソン	♀1	消化機能不全
9月 23日	チリーフラミンゴ	♂1	老衰
10月 5日	ホウコウチョウ	♀1	呼吸不全
10月 23日	ヒョウモントカゲモドキ	♀1	化膿性胸腹膜炎
10月 26日	ケヅメリクガメ	♀1	肝機能不全
10月 30日	ヨツユビハリネズミ	♂1	出血性胃炎
11月 7日	ベネットアカクビワラビー	♀1	多発性腫瘍



アビシニアコロブス/チー
オスのロンをリードする姉さん女房。
怖いもの知らずな性格でしたが、ロン
に対しては遠慮が隠れていたせいか、
優しく接していました。おやつをとられ
ても怒らず、とられないようにそばを
向いて食べる姿が、見ているこちらを
穏やかな気持ちにさせてくれました。

来園した動物たち

2013年 7月 2日	ボールニシキヘビ	♂3	広島市安佐動物公園より
7月 12日	ビグミーマーモセット	♂1	草津熱帯園より



出園した動物たち

2013年 6月 24日	シセンレッサーバウダ	♀1	広島市安佐動物公園へ
7月 12日	コモンマーモセット	♂1	草津熱帯園へ
10月 5日	テンジクネズミ	♀12	豊橋総合動植物公園へ



秋の写生大会

SKETCH CONTEST 2013 AUTUMN



金賞 鶴橋佳乃さん



金賞 深沢生江さん



銀賞 山本恵央さん



金賞 山村悌公さん



銀賞 巴みさとさん



銀賞 阿部敏子さん



銅賞 大多和孝信さん



銅賞 石崎晴さん



銅賞 和田秀夫さん

動物園ファンの 動物園ファンによる
動物園ファンのためのイベント

めざせ！ 動物園博士



動物園ファンのための企画「めざせ！動物園博士」。
2013年11月3日(日)入門コースを実施。
10月13日(日)と14日(祝)の2日に分けて実施した
専門コースその3「親はいつだって大変」には、
博士となった5人を含む15人が参加されました。

入門コース 修了者の皆さま



山村 珠美	長井佳代子	生田 碧衣	大石志津子	菅野 大地
山村 修公	長井 杏花	生田 端月	大石 美幸	藤又 悦男
藤田 敦也	長井 結花	生田 希望	横田 仁	藤又 栄子
堀 ひろ子	中島 和登	長谷川大輔	横田 真未	渡辺 秀美
堀 かんたろう	服部 泰治	長谷川百合子	横田 樹奈	渡辺 紗良
佐野さおり	服部 慶子	長谷川結海	横田 佑樹	渡辺 桃花
佐野そうま	服部 悠花	長谷川純海	菅野 豊彦	亀之園結空
佐野かえで	生田 領野	長谷川直輝	菅野 ゆり	
長井 博行	生田紗衣子	大石 幸男	菅野 航世	

(受付番号順・敬称略)

専門コースその3 修了者の皆さま



安藤奈緒美	窪美 竜太
望月 肇子	青山 澄
望月 璃子	村田 初海
望月 麻央	豊嶋 聖
杉山 瑠璃	太田 拓哉
杉山 智子	高木ゆかり
竹内 希海	高木やよい
竹内 緑	

(受付番号順・敬称略)

新たに誕生した動物園博士



2013年10月13日認定
安藤奈緒美 博士
竹内 希海 博士
竹内 緑 博士

2013年10月14日認定
太田 拓哉 博士
窪美 竜太 博士

静岡市動物園協会では、入門コースと4種類の専門コースをすべて修了された
皆さんを「動物園博士」として認定しています。今回、新たに5人の動物園博士
が誕生したことで、これまでに博士に認定された人は56人となりました。



「めざせ！動物園博士」について、詳しい情報や今後の開催予定は
静岡市動物園協会 (TEL.054-262-3252) へお問い合わせいただくか、
静岡市動物園協会ホームページ (<http://www.szga.jp>) をご覧ください。

N.Z.G.V.

Nihondaira Zoo Guide Volunteers

日本平動物園 ガイドボランティア

ガイドボランティアでは、ガイド、親子教室、ふれあい、
ツアーガイド、イベントなどの活動をしています。
今回は、多くの活動に参加してくれている、村松くん(高1)を紹介します。



新年最初の活動、もちつきのお手伝い



シロフクロウのガイド



猛獣館299で小道具を使ったガイド

「伝わる」
その瞬間がうれしい



村松勇哉 くん

僕がボランティアに入るきっ
かけは、三年前の中学一年生
の時でした。動物の事が好きで、
もっと知りたいと思い、「めざせ！
動物園博士」に参加しました。
その時に、ボランティアの方に
声をかけて頂き、一緒に活動し
てみようと思ったのがスタート
でした。

特にヘビなどの爬虫類と、
ハリネズミ、ハリスホークが好き
です。飼育の為に勉強した知
識や、動物園博士で得た知識、
ボランティアの人と見つけた知
識。お客さんと話しながら、その
知識が伝えられ喜んでもらえる、
その瞬間がとてもうれしいです。

N.Z.G.V. VOICE

日本平動物園ガイドボランティアのホームページもぜひご覧ください → <http://nzgv.web.fc2.com>

Information

交通のご案内

電車・バスをご利用の場合

JR静岡駅北口11番のりば/JR東静岡駅南口2番のりば
から静岡日本平線「動物園入口」下車 徒歩5分

お車をご利用の場合

東名静岡I.C.より約20分
東名清水I.C.より約25分
新東名新静岡I.C.より約20分

徒歩の場合

静岡鉄道県総合運動場前駅から徒歩20~30分
JR東静岡駅から徒歩30~40分

東名ハイウェイバスをご利用の場合

「東名日本平」下車 徒歩約5分



静岡市立日本平動物園
Zoo しずおか 76

2014年3月1日発行
発行/一般財団法人 静岡市動物園協会
編集/静岡市立日本平動物園

編集後記

ここで馬にまつわる言葉についてちょっとご紹介します。みなさんもおなじみの食べ物を目の前にすると「これはごちそうだな」と口にするかと思います。この「ごちそう」という言葉、今は「贅沢な料理」などの意味ですが、「ごちそう」の「ちそう」は元は漢字で「馳走」と書きます。馳走はもと「乗った馬や馬車を速く走らせる」という意味になります。昔は、客人を迎えるために馬を走らせてあちこちに走り回って一生懸命準備をする、ということから「馳走」におもてなしという意味が含まれるようになり、おいしく贅沢な食べ物を届けるようになったそうです。みなさんもおいしくごちそうを食べる時は作ってくれた、準備してくれた方々のことを想って召し上がってみては!

Coca-Cola[®]



ハッピーを
あけよう。

